

ジャコ萬と鉄 (1964)

メディア 映画

ジャンル アクション

製作国 日本

色彩 B&W

時間 100分

初公開日 1964/02/08

【解説】

1949年に製作・公開された映画「ジャコ万と鉄」のリメイク。梶野憲三の小説『ジャコ万と鉄』（『鯨漁場』の改題）をもとに黒澤明と谷口千吉が脚色し「ギャング同盟」の深作欣二がメガホンをとったアクション作品。

北海道の九兵衛一家は出稼ぎの漁夫を集めてぼろ儲けをしていた。そこへかつて九兵衛に船を盗まれ抑留されていたジャコ万がやってくる。さらに嵐の海で行方不明になっていた九兵衛の息子、鉄も舞い戻ってきた。ジャコ万と鉄はことあるごとに衝突していたが、ジャコ万を追いかける女ユキの出現により、状況が少しずつ変わっていく。やがてニシンの大群が現れ、漁夫たちは喜び勇んで浜へ走って行ったが、ジャコ万はひとり、九兵衛の前に立ち塞がるのだった。

【クレジット】

監督 深作欣二 Kinji Fukasaku

企画 関政次郎
植木照男

脚本 黒澤明 Akira Kurosawa
谷口千吉

撮影 坪井誠

美術 近藤照男
中村修一郎

音楽 佐藤勝

出演 高倉健
丹波哲郎 Tetsuro Tamba

江原真二郎

山形勲

高千穂ひづる

南田洋子

大坂志郎

入江若葉